

## 後発医薬品（ジェネリック医薬品）に関するアンケート調査の実施について

### 1 調査目的

調剤医療費（電算処理分）の動向（28年度版）によると、平成29年3月時点での県内の市町村別後発医薬品割合は、最低62.8%から最高88.9%と地域差が認められる。

地域格差の原因、診療科・診療規模との関連性及び後発医薬品の割合が低い医療機関の後発医薬品に対する意識や課題を把握することにより、県内における後発医薬品の使用状況や安心使用の促進のためにアプローチすべき観点を把握するため。

### 2 調査対象

県内病院、一般診療所及び歯科診療所 500~1000施設  
(後発率が低い施設の情報があればその施設を中心に選定)

### 3 内容

- (1) 後発医薬品の採用に対する考え方
- (2) 院内における後発医薬品の採用状況
- (3) 後発医薬品の使用状況
- (4) 後発医薬品に対する考え方
- (5) 後発医薬品に関して入手したい情報
- (6) メーカー・医薬品卸・保険薬局・行政に望むこと
- (7) 後発医薬品の利用のために実施していること

### 4 実施スケジュール

H29. 10月	中旬	調査票作成
	下旬	調査票発送
11月		調査票回収
12月	~1月	集計

集計資料は、委員会での報告のほか、必要に応じて公表等を実施。